

# 「使える英語」充実図る 単語数増／記述なお手探り

## 小学校教科書検定

小学校で令和6年度から使われる教科書の検定結果が28日、公表された。実践的な英語力や論理的な思考力などの育成を掲げ、2年度から全面実施されている新学習指導要領を踏まえた現行本を大幅改

5、6年生用の英語教科書は申請された6点全てが合格し、現行本に対する学校現場からの要望を踏まえた単語数の増加など充実がみられた。ただ、教科書づくりはまだ手探りの段階、英語が苦手な教員もおり、授業に課題を抱える学校もある。この春からは、教職課程で児童向けの指導法を学んだ新任教員の配備が始まるが、英語教育の定着には時間がかかりそうだ。

小学校で英語が必修化されたのは令和2年度、5、6年生で、国語や算数と同じように英語の授業が行われている。今回の改訂で目立ったのが、単語数の増加だ。6点のうち4点で43、128語増となり、東京書籍版では6000、700語程度とされた目安を上回り、825語となった。

前回検定の申請本(現行本)の単語数が6003語と各社のうち最少だった三省堂は45語の増加、「学校現場から単語を授業で紹介したい」との声もあった。この名前は、Mt Fuji

教科	科目	合格点数
国語	国語	9
	書写	9
社会	社会	12
	地図	2
算数	算数	36
	理科	24
理科	理科	24
	生活	7
音楽	音楽	6
	図画工作	6
外国語	英語	6
	家庭	2
体育	保健	12
	道徳	18
合計		149

訂。検定を通過した教科書には、教育改革の目玉である英語やプログラミング教育といった学習項目の充実が目立った。  
――1面参照

### 検定が行われた小学校教科書の教科と科目

〔編集部記者〕ため、中学校の部活動に関する単語などを追加した。記述にも小学校の英語に独特な難しさがある。三省堂版で検定意見が付いたのは、「山の名前を習った」とは、名前の前にMをつけます。富士山はMt. Fuji、六甲山はMt. Rokkoのように表します」との記述だ。求められるのは、文法や規則を教えることではなく、英語を実際に使ってみる、ことでの学習だ。知識として文法を教えるのは中学生向けの課題となる。そのため、文部科学省は「Mt.」の後ろに山の名前を当てはめればよいと教えるパターン・プラクティス(文型練習)となる恐れがある」と判断。記述は山

## プログラミングも手厚く

今回の検定に合格した教科書は、プログラミング教育に関する記述も充実した。現行本に記載のなかった教科や学年にもトピックが設けられ、教科横断的に広がりがみられた。子供たちに求められるようになった「論理的な思考力」を養

「やりたいことが、プログラミングの力で、より大きく、深く、正確に実現できるのです」。東京書籍の5年生用は、コミュニケーションを組む画面の写真とともにプログラマーの文章を掲載。いま、なぜ必要な学習

東洋学園大の津村敏雄教授(英語教育学)によると、原則的に担任が授業を行う小学校では、中高と異なり専門的な指導法を習得している教員は一部にとどまらざる。独自に補助教材を開発したり、低学年から学習を取り入れたりしている自治体もあり、地域間の格差が顕在化しているという。津村教授は「教職課程で

テーマなのかを児童に分かりやすく伝えた。理科も現行本で記述があるのは6年生用だが、3、5年生にも広がった。今回検定に合格した小学校教科書では、新型コロナウイルスに関連する記述がさまざまに教科で見られた。高い感染力など特徴の解説や授業中の感染を防ぐ注意のほか、患者や医療従事者への差別が起きた事実から社会正義を考えたといった取り上げもあった。保健教科書では、感染しても症状が出ず、知らない間に感染を広げる場合があることや、高齢者と重症化する危険性が高いことなどを詳しく説明。3密(密閉、密集、密接)の回避が重要とされたこと

や医療従事者、その家族らに対する差別や排除が起きたとして「病室と関係する人を差別するのはなぜだろう?」と問いかけたものも。思い込みや不確かな情報が差別を助長してしまうことを示し、差別のない社会にするために大切にしたい心の在り方を考えさせた。

5月から7会場 検定資料の公開

文部科学省は教科書検定での記述の修正過程などが分かるよう、5月下旬から全国7会場で開催資料を公開する。会場と公開期間は次の通り。